

遊休農地の解消に向けた取り組み



作業前はこのような状況でした



2~3m ぐらいある草を刈りました



畑一面にそばの白い花が咲きました



サポーターと一緒に種まき



お楽しみの収穫となりました

宮代町農業委員会では、平成14年度から「農」のあるまちづくりを推進し、農業・農地の持つ多面的機能を維持・発揮していくため、町内の遊休農地の解消を図るとともに、優良農地の確保・保全を研究・検討することを目的に活動を実施しています。

今までは、農業委員のみで活動していましたが、「農」のもつ公益的機能や農のある風景を守り、持続していく活動の裾野を広げていくために、今年度からは住民の皆様とともに活動することとし、サポーターを募集して、6名のサポーターと共に活動しました。

サポーターの年齢層は30代と60代。就農希望の夫婦や営農を学ぶためのサラリーマンの参加もありました。

今回は、今までに取り組んだことのないくらい荒れた遊休農地だったため、サポーターの皆さんが作業できるか心配でしたが、とても一生懸命作業に取り組んでくれました。サポーターの皆さんと共に活動することにより、町の農風景を支えるための多くの課題を共通認識できたことは、今後の活動方針においても大きな成果であったと思います。



遊休農地解消対策研究会
会長 富田 高治